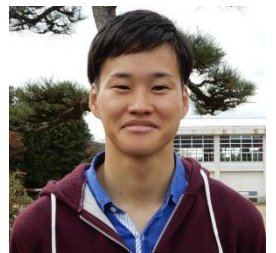


大内農業新聞

大内の農業をPR 大内のファンを増やすつぺく

第16号



大内地区
地域おこし協力隊
三浦 昌志

平成31年
3月15日発行

今月の小言

「実習生が帰ってから
低栄養・省エネタイプに
逆戻り」

実習生

先月号で紹介した実習生が2月28

日に大内まちづくりセンター、3月1日に役場で報告会を行いました。「大学の文化祭で丸森町の野菜と郷土料理の販売を行いたい」と言っていたため、それが実現できるようにサポートをしていきます。



→大内まちセン発表



→役場発表

大学生ツアー実施

2月に大学生を対象に「丸森町大内地区に行って・知って・楽しもう！」ツアーを3回行いました(左記参照)。東京から2名、仙台から6名の大学生が参加をしてくださいました。初めて丸森町に来た方が民泊や地域の方との交流を通じて丸森町大内地区を知ってもらいました。「夏に星空、蛍、農作業を見に来たい」と大学生が言ってくれたので、早速計画を進め多くの学生が来てくれるようにします。

活動内容 「農林業体験を通じて都市部の若者呼び込み、大内のファンを増やす」

よく来たなあいん会→
またこらいん会↓
佐野地織体験↓



宮城県丸森町大内地区に
-行って・知って・楽しもう!!

- ① 13日(水)～14日(木)
地域交流中心の農家民泊ツアー
- ② 19日(火)～20日(水)
福祉施設等見学中心の
農家民泊ツアー
- ③ 27日(水)
栄養学による畑見学中心の
日帰りツアー

※「低栄養・省エネタイプ」とは・・・三浦にとって**普段通りの姿**を言います。

ホームページに載せた写真



丸森町民俗芸能鑑賞
のつどい(2/10)



丸森町民俗芸能鑑賞
のつどい(2/10)



世代間交流
(2/12)



生きがいづくり
(3/12)

スプリングフェスティバル in げんまるのおうち

3月2日、大内まちづくりセンターと鹿狼山鳥居
保育所と愛宕神社と徳寿坊公園を周る「宝探し
ウォークラリー」が行われ、大内みらい屋(若もん
会)が子供たちのために地図や宝箱の準備を行いま
した。ウォークラリーの後は昼食のカレーを食べて、
「げんき号」を学んだ後、読み聞かせを行いました。

参加した6年
生は「大内で
も行ったこと
がない所を歩
いて、知る事
が出来て良
かったです。」
と言っています。



感想・目標

2月は大学生ツアー、実習生の
受け入れを行い、慣れない作業
で頭と体力を使いました。地域
おこし協力隊の外からの目は、
年数が経つにつれて見えなくなっ
てしまいます。そのため大学生の
外からの目を入れることで、新
たな風が町に流れてくると思い
ました。普段当たり前に過ごし
ている生活も、大学生にとっては
すべてが新鮮で楽しいときとな
り、地域の方はそれを見て明る
くなっていました。大学生を町に
呼びこむことは地域のためにも
なり、大学生のためにもなるた
め継続して行っていきます。

来年度は今まで学んだ知識や、
考えていたことを実践していきま
す。成功と失敗を繰り返しながら
前進し、自分自身の成長に繋
げていきます。

編集後記

左側に穴が欲しいと要望があったため、
両方に穴あけをしました。
お好きな方で綴じこんでください。

今月の活動目標

1. 来年度に向けた準備をする
2. 大学生対応の振り返り
3. お助け業務を始める